

近代における山口県の水産教育 ■ 講師: 牛見 真博

うしみ まさひろ

2026年1月31日(土) 14:00~16:00

Zoomにて開催 (ルームオープン 13:30)

図版はいずれも

『山口県水産試験場要覧 自明治三十三年度至大正三年度』所収



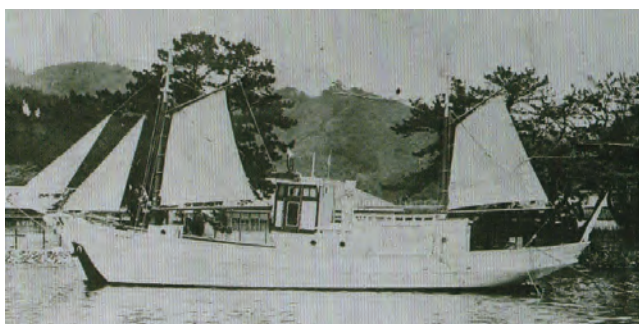
試験船「旭丸」(28.5トン、明治39年建造)



山口県水産試験場全景 (大正3年頃)

教育史研究において、近代の水産教育に関する検討はほとんど未開拓の分野と指摘されているのが現状である。先行研究では、文部省『産業教育七十年史』(1956年)や国立教育研究所『日本近代教育百年史』第9巻(1974年)が全体像の輪郭を描こうとした点で一定の成果を認められるが、一方で、その後も各県の個別基礎的な事例研究自体が少ないこともあり、当該研究の進展は未だ道半ばの状態である。

そうした課題意識のもとでの個別基礎的な事例として、今回は山口県における明治期から戦前までの水産教育機関の歴史的変遷について概観したい。



漁村修練場実習船「新興丸」(19.99トン、昭和16年建造)

■牛見 真博(うしみ まさひろ) 日本海事史学会会員

1976年生まれ。立命館大学文学部卒業後、山口県の高校教諭として奉職。勤務の傍ら、山口大学大学院博士課程修了。博士(学術)。現在、大島商船高等専門学校教授。

著書に『長州藩教育の源流—徂徠学者・山県周南と藩校明倫館—』(溪水社、2013年)。

本学会誌には「日清戦争前後における『海国』教育の啓蒙をめぐって」(『海事史研究』第79号、2022年)。

- 関心をお持ちの方ならどなたでもご参加いただけます。メールでお申し込みください。

※希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。
お申込みいただいた方には1月28日(水)までにご連絡いたします。

- 会員にはメールでご案内をお送りしています。
メールが届いていない方は、右の申込先までお問合せください。

■申込〆切: 2026年1月27日(火) 正午(12:00)

■申込先: kaijishi.web@gmail.com (担当: 大野)

メールの件名を「日本海事史学会 Web 例会申し込み(非会員)」として、本文にはお名前をお書きください。

[今後の例会 開催予定日: 2月21日(土) Web・3月21日(土) Web・4月25日(土) Web]

日本海事史学会は、海事一般に関する歴史・法律・民俗・水産・考古・船舶・航海・海運など、海事史だけにとどまらずひろく海の人文科学、社会科学等あらゆる分野に関心を持つ学界や在野の研究者の方々の交流をはかる総合研究の“場”です。

【主な活動】専門学術誌『海事史研究』の発行(年1回)／総会(年1回)・例会(8月と総会開催月を除く年10回) など

